

## こころの道

Nhân hậu Thông minh Khỏe mạnh



やさしく  
ニャンハウ

かしこく  
トンミン

たくましく  
ホーエマイン



校長 佐藤之保

### つながり

9月は、日越外交関係樹立50周年ということもあり、子供たちにとって、いろいろな「つながり」を感じる場面があったと思います。

スクールフェスティバルでは、リクインドン、ヴィン、オリンピアという3校の現地校の訪問があり、本校の体育館で一緒に各学年の発表を鑑賞していただき、心のこもった発表もしていただきました。毎年実施している交流活動を拡大し、今年は大きな学校行事での交流を試みました。民族衣装での歌唱や伝統楽器での演奏など、現地校ならではの発表内容に、本校の子供たちもいろいろなことを感じ、学んでくれたことと思います。

また、報道でも皆さんご存じのように、国内からは秋篠宮皇嗣同妃両殿下がご来校され、子供たちと交流をされました。児童生徒は、歓迎の会で3曲の歌唱を両殿下に送り、両殿下もとても感動なさっていました。子供たちは、とても貴重な経験ができたのではないかと考えています。

子供たちは、いろいろな人と出会い、つながりを感じて成長していきます。

人は人の中で育ちます。

はるか昔からの素晴らしい人のつながりの中に自分がいると感じることは、今現在を共に生きる素晴らしい仲間とのつながりの中に自分がいると感じることは、その人のアイデンティティを支え、自信を醸成する、重要なことです。これは人が幸せに生きるためには欠くことができないことと思います。

人は一人ではありません。家族、友達、地域の方々など、多くの人たちとの「つながり」を感じながら生きていきます。その「つながり」は悩みの種にもなりますが、同時に多くの幸せも作っていきます。そして、人はその中で自分と共に他者も大切にすることとを学んでいきます。

子供達には、しっかりと自分を持ちながらも、より多くの人たちを理解し、協力して、幸せに生きていってほしいと思います。